

企業主導型保育事業における午睡時抜き打ち調査の状況について

(令和5年度結果)

目的

○公益財団法人児童育成協会において、企業主導型保育施設における乳幼児の安全確保の観点から、午睡時の職員配置状況や施設における午睡状況等の確認及び必要な指導を実施する。

実施状況

○午睡時抜き打ち調査の実施施設：606施設

○対象施設 0歳児・1歳児の利用数が3人以上の施設、保育士比率が100%未満の施設を対象とし、次の施設を優先的に実施した。

- ・令和4年度において事故報告や情報提供、通報があった施設等
- ・令和4年度の立入調査において、多くの指摘があった施設

年 度	実施施設数	文書指導施設数	口頭指導施設数
令和5年度	606施設	132施設（21.7%）	356施設（58.7%）
令和4年度	604施設	126施設（20.9%）	446施設（73.8%）

※指摘があった全ての施設において、改善報告書を提出済

令和5年度主な指摘事項

具体的な指摘事項	R5年度件数 (割合)	【参考】 R4年度件数 (割合)
・午睡室の設備等の危険防止・安全対策がとられていない。	306 (50.5%)	241 (39.9%)
・午睡時の利用児童同士の間隔が十分に確保されていない。	118 (19.5%)	142 (23.5%)
・午睡時に必要な保育従事者数が確保されていない。	83 (13.7%)	116 (19.2%)
・午睡時において保育室の室内温度、及び湿度が適切に行われていない。	74 (12.2%)	105 (17.4%)
・午睡室の明るさが十分確保されていない。	72 (11.9%)	102 (16.9%)
・掛物(布団、タオルケット等)シーツの配慮が適切に行われていない。	71 (11.7%)	72 (11.9%)
・うつぶせ寝に近い児童が見られた。	55 (9.1%)	64 (10.6%)
・うつぶせ寝の児童が見られた。	31 (5.1%)	53 (8.8%)
・外部からの侵入防止に対する安全対策がとられていない。	22 (3.6%)	40 (6.6%)
・午睡時の注意喚起のミニポスターが午睡室に貼られていない。	18 (3.0%)	40 (6.6%)